

Rotary  
第2640地区



ガバナー月信

2022-23年度  
Vol.2

8

# Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」



田辺市「扇ヶ浜」写真提供:玉井 洋司(田辺RC)



イマジン  
ロータリー

2022-2023年度 R I テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



## 目次

RI会長 8月のメッセージ	1	【クラブ活動報告】	
8月のガバナーメッセージ	2	ウクライナ人道支援金を寄付 田辺RC	14
会員増強月間を迎えて 山下委員長	3	市和歌山高校へ冷風機寄贈 和歌山市内9RC	15
国際大会推進コーディネーター補佐を終えて	4	新会員の紹介 / 訃報	16
RI会長イニシアティブ	5	ハイライトよねやま Vol.268	17-18
ガバナー公式訪問	6-7	会員数報告(2022年6月)	19
【RIニュース】		My Rotary 登録状況(2022年7月)	20
ロータリーによるウクライナ支援	8-9	8月の行事予定	21
【地区活動報告】			
クラブ会員増強セミナー	10		
ロータリー財団補助金審査会	11		
RAC リーダーシップフォーラム	12		
IAC 年次大会	13		



### ロータリーのビジョン声明

**私たちは** 世界で、地域社会で  
そして自分自身の中で  
持続可能な良い**変化を生むために**  
人びとが**手を取り合って**  
**行動する**世界を目指しています

より大きな **インパクト**をもたらす  
参加者の **基盤**を広げる  
参加者の積極的な **かかわり**を促す  
**適応力**を高める

### ロータリーの中核的価値観

**親睦**  
**高潔性**  
**多様性**  
**奉仕**  
**リーダーシップ**



## RI 会長メッセージ

国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

## 全ては招請することから始まる

私たちは皆、さまざまな道を歩んでロータリーの一員となりました。父親がロータリアンだったから入会した人もいます。例会に出席するようにと雇用主に頼まれて入会した人もいます。アメリカ最高裁判所が下した性別理由による入会拒否は違法という判決によって入会できるようになったから入会した人もいます。それでも、全員に共通する入会理由が一つあります。招請されたから、です。

私たちの想像力を解き放ち、あらゆる可能性を広げてくれる招待状。私たち一人一人が、誰かを招請することができるのです。

地域社会全体を見渡し、将来のリーダーを見つけるのだと想像すると、感動を覚えずにはいられません。人は、自分と同じような人を誘おうと思ってしまいがちです。なぜなら一見、共通点などまるでないように見える人が私たちと価値観を共有していて、同じように才能を発揮することができるのだと気付くには特別な才覚が必要ですから。

しかし、ロータリーは組織全体の「多様性、公平さ、インクルージョン (D E I)」を推進するために、今こそ次の一步を踏み出すべきです。

皆が自分もロータリーの一員であると感じられるような体験を大切にするのは、単に会員層を多様化すればよいという話ではありません。例会やイベントを、本音で話し合えるオープンな場に、会員たちが「自分は歓迎されている」と感じられて、居心地のよい場所にしないてはならないのです。そのためには、入会の障壁を取り除き、インクルージョンのために扉を開かなくてはなりません。私たちの価値観は今後もロータリーの強みであり続けます。加えて、卓越性が求められるロータリーでは、会員の高い基準を維持する必要があります。

私たち全員がロータリー全体で D E I を推進することを心に誓っていると私は信じています。このことはロータリーの最も深い伝統に根差しており、これから数十年にわたって、ロータリーが活気にあふれた重要な団体であり続ける未来を保証してくれるものです。

数年前、国際ロータリー理事会は 2023 年までに女性会員の割合を 30% にするという意欲的な目標を設定しました。もうあと 1 年を切りましたが、この目標を達成し、超えることができると私は信じています。

ロータリーはあらゆる大陸、文化、信条から指導者を擁立するべきです。若い世代や考え方が若い人に、これまで以上に大きな役割と責任を担ってもらうべきです。そして、長年活動してきた会員と同等に、新会員の声にも熱心に耳を傾け、敬意を払うべきです。

ヒューストン国際大会では、アポロ 16 号の宇宙飛行士から宇宙探査の話の聞ききました。1960 年代にアメリカ合衆国のケネディ大統領が「実現が容易だからではなく、困難なことだからこそ、月面探査も挑むのだ」と宣言し、夢を見ようと世界に呼びかけたことに思いをはせました。

ロータリーが D E I に全面的にコミットし、意欲的な会員目標を達成することは、当時の月面着陸ほど難しいことだと思われるかもしれませんが。しかし、行動人が大きな目標に取り組むとき、全力で目標を実行することを私は知っているのです。



PRESIDENT'S MESSAGE

イマジン  
ロータリー

## ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

### 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

	クラブ数	会員数		クラブ数	会員数
2018.4	69	1,876人	2018.6	69	1,791人
2019.4	69	1,862人	2019.6	69	1,808人
2020.4	68	1,833人	2020.6	68	1,734人
2021.4	67	1,697人	2021.6	67	1,635人
2022.4	66	1,624人	2022.6	65	1,585人



この数値はロータリーの友から抽出しました。2019年6月から毎年数十人の会員数が減少しています。

また、4月の会員数と6月(年度末)は大きく違い、年度末の退会者が多いことがわかります。

日本においては新型コロナ感染が広がるなか2022年4月では前年より増加しています。当地区における最大の課題は会員減少に歯止めをかけ、増強することができるかになります。

まず、各クラブにおいて現状の課題を把握し

- ・会員維持力を高める
- ・会員の満足度を高める
- ・退会理由を理解する



次に各クラブをいかに活性化するかだと思います。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEIを推進するとき、当地区のDiversity(多様性)は先の参議院選挙でも女性議員が大きく伸ばしたように女性会員を増やすことはもちろん、多様性の重点は年齢幅を大きく取る事だと考えます。

私の周辺にも80才以上で元気に活躍しておられる人はたくさんおられます。公平性、インクルージョンを取り入れる努力をしてください。各クラブ、各会員1人1人が会員増強を考え、2640地区が活性化される事を期待します。

地区スローガン

**「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」**

## 会員増強月間を迎えて

地区会員増強、維持・女性活躍、推進委員会委員長 山下 茂男

2640地区に於いて未だ歯止めの掛からない会員減少の中、2022年7月23日、和歌山県JAビルにて、会員増強委員長セミナーを開催しました。本年も去年に続き第2840地区パストガバナー 田中 久夫 氏のご講演会を開催しました。田中久夫講師は自クラブ会長年度に於いて、自身が陣頭指揮を取られ51人もの新規入会者の獲得に成功されました。その成功に至るプロセス、ノウハウを惜しみなく丁寧にお話頂きました。

以下講演内容

1. リーダーの条件3つ①バイタリティ②楽天性③自己修練
2. 愛読書を持って
3. 若きローティアン達から聞いた「クラブ会長の十訓」①信任力②余裕力③柔軟性④知名度⑤健康と性格明朗⑥清廉性⑦高潔性⑧自主性・自立性・自律性⑨包容力⑩先進性
4. “女性誌anan”にいう「尊敬されるリーダー」の条件は⑦項目・反対に「嫌われるリーダー」とは25項目
5. リーダーが抱える4つの共通点①シニア会員の顔色を窺い改革から逃げていいる事②新会員のフォローが足りない。若い会員を失う事は周りの新規会員層を失う事になる。③若手・女性を入会させよという気持ちが無い
6. 会員増強の本当の目標①ロータリーに入る事がどれだけ本人の為になるか。②本人自身が理解して喜んでくれることが大切
7. 田中氏がクラブ行った実例等大変内容の濃い講演会でした。講演内容資料は各クラブにデータをお届けしています。各クラブで内容を会員さんへお知らせください

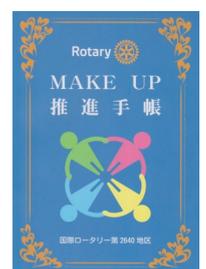
増強委員長として参加の皆さんに講演者田中氏の著書「ロータリークラブに入る」の会員増強の成功例を元に各クラブで実践して頂きたい旨をお願いしました。合わせて単年度ではなく今後3年間は各年度ガバナー最優先課題として田中氏の会員増強実践例の実施をお願いし講演会は終了しました。

会員増強は、各ロータリークラブにとって永遠のテーマとなっています。

私から今年から3年間の目標として、①各クラブにて会長を中心にして特別会員増強委員会の発足②月1回の増強委員会会議の実施③推薦者のリストアップ。④会員増強への各クラブ会長の強いリーダーシップを要請。⑤新規入会者へ入会メリット等を伝える。と5項目をお上げさせて頂きました。

講師田中久夫さまの著書「ロータリークラブに入ろう」を各クラブに一冊配布させて頂きました。この著書の中に会員増強の為のクラブ分析、課題、実践内容が網羅されています。

追伸 新企画としまして、「メイクアップ推進手帳」を配布させて頂きました。この推進手帳は、御朱印長又はスタンプラリーからヒント得まして。各クラブへのメイクアップの推進、出席率の向上、地区の各会員の交流の機会の推進等、他クラブへのメイクアップで色々な刺激と勉強になればと思い企画しました。、又50クラブのメイクアップ毎にガバナー表彰も考えてます。合わせて会員増強活動へのご協力よろしくお願ひします。



## ヒューストン国際大会推進コーディネーター補佐を終えて

パストガバナー(2020-2021年度) 藤井 秀香

Houstonは、北アメリカ有数の世界都市で全米4位で230万人ほどの人口です。戦争で指揮をとったテキサス共和国の大統領で将軍のサムユエル、ヒューストンから名前を取っています。

コロナ禍の厳しい年度ですが三年ぶりにリアルで開催された国際大会には、日本からは、450人程の日本人の参加がありました。世界からは、今年は、4分の1程で一万ほどでした。

私が担当させていただいた、辰野RI理事主催の日本人朝食会には、230人も参加してください、RI会長のインドのシャガールさんをはじめ、初めての女性RI会長エレクトのジェニファーさんもご夫婦で出席いただき、大成功でホッと安堵いたしました。



ヒューストンは、緑の多い散歩にピッタリの公園が多くあり、多くの博物館があり、ホロコースト博物館に興味がありました。NASAジョンソン宇宙センター。ニールアームストロング船長が人類ではじめて月面に降り立つのを、NASAの職員たちが固唾を飲んで見守ったアポロ管制センターも見学できました。8000人のスタッフが働いています。Houstonでは、住民の半数以上が黒人やヒスパニック系、アジア系で占められています。アメリカで人類や民族のダイバーシティ多様性がトップクラスです。テクノロジーの変革の中心地であり、アメリカの経済の発展を大きく寄与しているのは、西海岸、東海岸から今はテキサスなど南地区が大きな力となっています。目まぐるしい発展と人口増加それでいて緑が多く素晴らしい公園がいくつもあり、綺麗な街でした。車社会で、一人で友人のホテルに訪問するのもタクシーが無く車を手配するのが大変でした。

今年の開会式でとても感動したのは、アルファベット順に国旗が登場するシーンで日本の国旗が登場した折は、いつもより少ない参加会員で声があがりました。そしてウクライナの国旗が登場した折、全員が立ち上がり、「オーッ !! 」と声をあげ、拍手の渦でした。

コロナ禍で出入国の書類、検査などに時間を有し大変でしたが、友愛の広場でバナー交換をしたりして、世界の多くの会員と繋がる事が出来、感動を与えていただきました。檜畑PDGは、開会式から閉会式まで、参加されて居られ、お写真を撮って下さいました。

来年は、コロナも終息していることでしょう。オーストラリア メルボルンで開催されます。時差も無くゴルフも組み入れて皆様で参加是非してください。来年は、5月27日から31日の5日間で土日を含み是非、世界大会を楽しみましょう。



## RI会長 イニシアチブ

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ



## イニシアチブの概要

ジェニファー・ジョーンズRI会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるため、「多様性、公平さ、インクルージョン( DEI)へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女児のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の四つの会長イニシアチブに注力します。

## 多様性、公平さ、インクルージョン( DEI)をイマジンする

多様性は、ロータリーの長年にわたる中核的価値観の一つであり、最大の強みです。ジョーンズ会長エレクトは、ロータリーの文化が多様性、公平さ、インクルージョン( DEI)を体現していくには、多くのことを行う必要があると理解しています。DEIタスクフォースからのフィードバックと指針の下、ロータリーはDEIへのコミットメントを強化し、ロータリーに関わるすべての人の貢献を大切に、公平さを助長し、人びとをより温かく迎えるインクルーシブな文化を創り出すことを目指します。

ロータリーが人びとが温かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、各自が以下を行うことをジョーンズ会長は奨励しています。

ロータリーにおけるDEIについてより良く理解する(定義の理解、互いの違いを尊重し、大切にすることなど)。DEIがなぜクラブや地域社会にとって大切なのか、また、DEIの原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解する。DEIに対する認識を高める(地域社会を反映した、クラブのDEI委員会の創設を含む)。クラブや地域社会でDEIに基づいて行動を起こす(例:DEIについて知識を深め、より効果的に推進できるよう、地域社会におけるさまざまなグループについて知る)。

## みんなを温かく迎え入れるクラブ体験をイマジンする:心地よさと配慮

クラブの環境と体験がすべての会員と参加者にとって歓迎的で、インクルーシブで、楽しいものであるようにすることが大切です。調査によって分かっていることは、会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の手段であるということです。これは、会員と参加者がロータリーとの関わりから何を求めているかについて耳を傾け、理解することから始まります。なぜ退会者が出るのかをより良く理解するために退会者アンケートを行うことも重要ですが、退会するまで待つ必要はありません。ジョーンズ会長は、新会員の要望や期待を理解するために、入会直後に入会者へのインタビューを行うことをクラブリーダーに強く促しています。もちろん、すべての既存会員に定期的にアンケート調査を実施することで、会員としての体験について意見や感想を伝える機会を与えることも重要です。

## 女児のエンパワメント

ジョーンズ会長エレクトは、シェカール・メータ元RI会長による 女児のエンパワメントの重要性を認識し、このイニシアチブを継続します。女児のエンパワメントの活動をロータリーショーケースでご紹介ください。

## インパクトをイマジンする:参加基盤を広げるメディアツアー

ロータリーの参加者基盤を年間を通じて拡大することを想像してください。ジョーンズ会長は、ロータリーの各重点分野とポリオ根絶を代表する八つの奉仕プロジェクトを訪問します。このツアーでは、ロータリーがどのように測定可能な変化をもたらすかについて事例を紹介すると同時に、新たな参加者、潜在的なパートナー、インフルエンサーにロータリーを紹介します。

<https://my.rotary.org/ja/news-media/office-president/presidential-initiatives>

【ガバナー公式訪問】

富田林ロータリークラブ

2022年7月21日(木)

会長 猪阪 成宏

幹事 原田 勝次



大阪狭山ロータリークラブ

2022年7月21日(木)

会長 米田 龍平

幹事 吉川 寿一



和歌山南ロータリークラブ

2022年7月22日(金)

会長 中村 和子

幹事 石橋 英二



和歌山中ロータリークラブ

2022年7月22日(金)

会長 宮本 嘉久

幹事 戎 敬史



【ガバナー公式訪問】

御坊南ロータリークラブ

2022年7月26日(火)

会長 坂本 雅信

幹事 濱口 顕人



岸和田ロータリークラブ

2022年7月27日(水)

会長 久禮 三子雄

幹事 牧村 正彦



河内長野東ロータリークラブ

2022年7月27日(水)

会長 中尾 洋亮

幹事 辻 展幸



和歌山東ロータリークラブ

2022年7月28日(木)

会長 乾 敦雄

幹事 奥村 申二



堺北ロータリークラブ

2022年7月29日(金)

会長 塩見 守

幹事 藤永 誉



【RIニュース】

ロータリーによるウクライナ支援

ロータリー財団と世界中のロータリークラブが、戦争で家を失ったウクライナの人びとに資金、物資、サービスを提供するため、迅速に行動しています。

ロータリー財団は1,500万ドル以上の寄付を集め、ウクライナの人びとに水、食料、シェルター、医薬品、衣料などの必需品を提供するための支援を行っています。4月30日以降に災害救援基金に寄せられたご寄付は、災害からの復興支援を必要とする世界中の地域社会で利用することができます。

ライナのロータリーリーダーを結びつけ、救援活動を支援しました。

バイオリンを習っている末の息子さんも、音楽を通じて支援活動に参加しています。春にはピアニストの友人と室内楽コンサートを開き、その収益金をウクライナの人びとの支援に充てています。

「音楽とは、国を問わず誰でも理解できる共通言語だと思います。コンサートの前、息子は『平和の祈りを込めて弾く』と言っていました」

【関連記事】

ハリケーン被災地からの教訓

「マリア、ドリアン、マイケル.....」。第6970地区(フロリダ州北東部)の災害救援コーディネーターであるパドレイク E. パット・マルビヒルさんは、これまでに対応したハリケーンの名称を列挙します。フロリダ州ジャクソンビル地域のロータリー会員は、これらの経験から嵐に耐えうるロジスティックスのネットワークを構築し、それをウクライナからの難民約140人へのシェルター提供に生かしています。

陸軍予備役として歩兵隊員、落下傘兵、グリーンベレーを務めた経験があり、退役したばかりのマルビヒルさんは、「ロータリーには組織的な知識とインフラがすでに整っている」と話します。

同地区のロータリークラブは、ウクライナの救援活動のために95,000ドル以上の資金を集めました。また、食料、防護具、救急救命士用の物資をウクライナに送ったほか、難民家庭の子どもたちのために、動物園での1日ツアーを企画しました。

**ウクライナでの戦争は、ロータリーのコミュニティをさらに緊密なものにしました。困難な時期でも、ロータリーを頼ることができます。私たちは大きなファミリーです。**

Wojciech Wrzecionkowski (2021-22年度第2231地区ガバナー、ポーランド)

次ページへ



ポーランドにある倉庫で、寄贈された物資を梱包するロータリー会員とその他のボランティア。難民の主要な拠点となっており、欧州のクラブからの援助の調整が行われています。

寄り添う家族

ロシアがウクライナに侵攻した直後、イリーナ・ブシュミナさんは、キーウ(キエフ)の自宅からオーストリアのウィーンに避難し、ロータリアンの家に身を寄せました。Kyiv-Cityローターアウトクラブの会員であるブシュミナさんは、Rotaract Europeと協力し、「United for Peace」というウェブサイトを通じて数千人の難民のためのシェルターを探しています。「以前からロータリーは大きな家族だと話してはいましたが、今では本当にそれを実感しています」とブシュミナさん。このファミリーは、難民に寄り添ってくれる人たちだと感じています。

平和の祈りを込めたコンサート

エレナ・ボンダレンコ(平石)さんは、ウクライナ東部のドニプロで育ちました。父親はウクライナ人、母親はロシア人。21歳で広島に移り、広島西南ロータリークラブの会員である夫の雅史さんと出会いました。ウクライナ戦争が勃発したとき、当時第2710地区ガバナーだった杉川聡氏から、広島西南ロータリークラブで話をするよう招待されました。ボンダレンコさんは、日本のクラブとウク



## ロータリークラブのネットワークが大陸をつなぐ

北米、南米、ヨーロッパのロータリー会員が、米国に拠点を置くウクライナの医療従事者団体と協力して、350トン以上の医療物資を集め、ウクライナに輸送しました。5月までに、止血バンド、血液凝固用ガーゼ、陰圧創傷治療器、医薬品などの医療用品を満載した貨物機5機がシカゴからヨーロッパに空輸され、ウクライナに届けるために会員が奮闘しています。

「これはロータリーが得意とすること。ネットワークを広げ、人びとをまとめ、仕事を成し遂げることができるのがロータリーです」と話すのは、今回の物資輸送の調整にあたったパット・メリーウェザー・アーガスRI理事です。

北米とアルゼンチンのロータリークラブは、それぞれのリソースを結集して医療用品を購入し、製薬会社や医療機器メーカーと協力して寄贈の手配を行っています。一例として、イリノイ州ピオリアの病院は救急車1台を送り、ほかの病院とのネットワークも築いて、救急車7台をウクライナに輸送しました。

シカゴのオヘア国際空港の近くにある北米ウクライナ医療協会が運営する倉庫には、物資が次々と運び込まれました。ネブラスカ、ウィスコンシン、アイオワの各ロータリークラブが、倉庫に送る物資収集を行っています。

「ロータリアン同士で声をかけ合うことで、これほどにも大きなことができる」と、シカゴ・ロータリークラブのマーガ・ヒューコ直前会長は話します。

## 救援活動にあたるウクライナのクラブ

ウクライナには、62のロータリークラブと7つの衛星クラブ(会員数約1,100名)があり、25のローターアクトクラブ(会員数300名以上)も存在します。

Cherkasyロータリークラブは、医療用品と医薬品を購入し、地元の病院に届けました。Kharkiv Internationalロータリークラブの会員は、難民が新しい環境に適應できるよう国境地帯を訪れ、「Yellow Help」と

いうプロジェクトを通じて、紛争地域近くの家族を避難させる支援活動を行っています。

Kyiv Synergyロータリークラブは、イタリアから350箱の医療用品を集め、キーウとシュミー内の地域に配りました。

Kyiv-Sophiaロータリークラブは、温かい食事を用意し、キーウとその近郊のイルピンやブチャの住民に配給しました。会員たちは衛生用品や医薬品を購入し、若い母親や高齢者に届けています。



## ヨーロッパでの支援活動

ポーランドは300万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブは寄付のための中央口座を作りました。Olsztynロータリークラブは、150人以上のウクライナ難民(その大半は子どもたちで、両親はウクライナに滞在)のために寄付を収集、管理しました。難民の受け入れが始まった数時間後には、車4台に積み込まれた食料、衣料、洗面用具、おもちゃなどの支援物資が、地元の難民センターに寄贈されました。

ポーランドではまた、二つのロータリークラブ(ZamoscとWolsztyn)の会員が、他団体と協力して、物資を集めました。Gdansk Centrumロータリークラブの会員は、4組の難民家族に宿泊施設と仕事を提供しました。

ドイツでは、Berlin Platz der Republikロータリークラブが、Berlin InternationalロータリークラブとWall Street New YorkロータリーEクラブの支援を受けて、「Spaces for Ukraine」という住居を提供するための専用プラットフォームを開発しました。このサイトを通じて、約400人の難民が家を見つけ、925人のホストファミリーが登録されました。

ハンガリーでは、Kisvárdaロータリークラブが寄付を調整し、会員を動員して生活必需品を寄贈し、必要とされる場所に届けています。ルーマニアとモルドバのロータリークラブは、WhatsAppのアプリを利用して難民のためのシェルターを用意しました。スロバキアとチェコ共和国では、クラブが鉄道会社や貨物会社と協力し、難民約2,300人の安全な安全な場所への移動を支援しました。



Pulawyロータリークラブ(ポーランド)会員のKrystyna Wilczynska Ciemegaさん(左から2番目)は、自宅で二人のウクライナ女性とその子どもたちを受け入れています。

## 【地区活動報告】

### クラブ会員増強セミナー

地区会員増強、維持・女性活躍、推進委員会委員長 山下 茂男



国際ロータリークラブ第2640地区 2022-2023年度のクラブ会員増強・維持/女性活躍・推進委員会長会議を2022年7月23日・13時より、和歌山県JAビルにて開催いたしました。(式次第内容参照)森本ガバナーより地区の現状と題し講和があり、「クラブのコア・リーダーに求められるリーダーシップ」と題し基調講演に2840地区パストガバナー田中久夫氏(高崎RC)をお迎えして開催されました。田中氏は会長年度の年間会員増強51人という奇跡の実績がありその実践内容の講演でした。

以下講演内容

1. リーダーの条件3つ①バイタルティ②楽天性③自己修練。
2. 愛読書を持て。
3. 若きローティアン達から聞いた「クラブ会長の十訓」
4. “女性誌anan”にいう「尊敬されるリーダー」の条件は・・反対に「嫌われるリーダー」とは・・
5. ①シニア会員の顔色を窺い改革から逃げている事②新会員のフォローが足りない等大変内容の濃い講演会でした。



最後に私から増強委員長として参加の皆さんに講演者田中氏の著書:ロータリークラブに入ろう:の会員増強の成功例を元に各クラブで実践して頂きたい旨をお願いしました。合わせて単年度ではなく今後3年間は各年度ガバナー最優先課題として田中氏の会員増強実践例の实地をお願いしました。

追伸 本会議はコロナ禍の中で会場座席間隔、消毒液、空調換気及び空気清浄機等万全を期して、開催しました。



【地区活動報告】

ロータリー財団補助金審査会

地区ロータリー財団委員長 中野 均

7月23日(土)ロータリー財団補助金審査会をzoom併用で開催しました。  
 今回は、地区内23クラブより地区補助金の申請があり、プロジェクト内容を審査しましたところ、各クラブとも特色のある事業で、全てのプロジェクトを承認しました。  
 但し、補助金額について、一部のクラブに対して減額させて頂きました。



# ローターアクト リーダーシップフォーラム



## 地区ローターアクト委員会

2022年7月24日(日曜日)、岸和田市泉州ビルにおきまして、2022-2023年度地区ローターアクト会長・幹事会、リーダーシップフォーラムを開催しました。

全国的に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催の是非及び方式について慎重な検討を行いました。政府や行政からの行動制限の要請等は課されていない状況にも鑑み、通常の開催方式(対面)にて実施しました。



午前10時から開始されました会長・幹事会では、地区役員、各RAC会長・幹事出席のもと、1議案の審議(全会一致で承認)、2議案の協議を実施しました。協議案件の中では、特にインターネット媒体等を通じて会員増強を行う手法について、活発で建設的な意見交換が行われました。



午後1時からリーダーシップフォーラムを開催しました。

高橋成基地区代表から、所信表明と共に今年度地区ターゲットとして、「アクト増し増し～仲間を増やそう～」が表明され、地区役員の紹介、各クラブの所信表明を行いました。



また、アクトの活動の頻度を上げる「月一アクト」の方針が発表され、年間スケジュールの概要も発表されました。

地区RAC全体として、近年、会員減少の傾向が続いておりますが、メンバー全員で知恵を絞り、様々な手法にて会員増強を目指すと共に、より魅力的なRACを創っていかうとする熱意が感じられた事業でした。



# インターアクト 年次大会



## 地区インターアクト委員会

開催日時:2022年7月24日 午前10時から12時30分頃

開催場所:清風南海学園岩峯館6階ホール

担当校:清風南海学園中学校高等学校インターアクトクラブ

参加者:森本芳宣ガバナー、谷宗光ガバナーエレクト、中野均パストガバナー

平岡正巳パストガバナー(学校法人清風南海学園理事長・学園長)

含むロータリアン17名

提唱クラブ 高石RC淡野勝也会長含む4名

6月24日(日)、清風南海学園岩峯館において、インターアクト年次大会が約3年ぶりに開催されました。RI2640地区所属のインターアクトクラブのメンバー約100名、各校顧問の先生方、そして、森本ガバナーを始め、谷ガバナーエレクト、中野パストガバナー、平岡パストガバナー、他ロータリアン及び関係者が集結し、清風南海中学校高等学校のインターアクターが年次大会の運営、進行等を担当していただき、開催できました。



今回の年次大会は、コロナ禍前と全く同じ形ではなく、コロナ対策のため規模を縮小し、午前のみで開催とし、お弁当をお渡しする形式とさせていただきました。今回の年次大会では5分という定められた時間内において奉仕活動の報告をしていただきましたが、各インターアクトクラブの皆様からの報告を拝聴し、その素晴らしい奉仕活動に感銘を受けました。コロナ禍におきまして、様々な問題や制約により困難な状況の中、奉仕活動に従事いただきましたこと感謝の念に堪えません。

未だにコロナ禍収束の目処が立たない状況で、感染拡大防止等の対策が必要ではございますが、今回の年次大会という地区行事を皮切りに、これから1年間、インターアクトクラブメンバーがコロナ禍においても元気に活動し、多くのことを学び、成長の一步一步を刻んでいかれることを願っています。



文責 RI2640地区インターアクト委員長 渡辺 隆一(和泉RC)  
写真提供 RI2640地区担当幹事 濱田 雅嘉(和泉RC)

## 【クラブ活動報告】

### ウクライナ人道支援金を寄付

#### 田辺ロータリークラブ

田辺ロータリークラブ(会長 玉井 洋司)は、ウクライナ人道危機救援金を日本赤十字社に50万円を寄付しました。また、同時に田辺市と上富田町、みなべ町の図書館に図書購入費として、それぞれ、10万円を寄付しました。

同クラブでは、ニコニコ箱の資金をロシアの軍事侵攻を受けて困っているウクライナの人々に役立ててほしいと避難民の救済、医療支援金として、日本赤十字社を通じ、寄付しました。

読売新聞 2022年6月14日(火曜日)

### 田辺RC ウクライナ支援 日赤県支部通じ50万円



ロシアの侵攻を受けるウクライナを支援しようと、田辺市の田辺ロータリークラブ(玉井洋司会長)は、日本赤十字社県支部田辺市地区長を務める真砂充敏・田辺市長に50万円を託した。ロータリークラブ内の「ニコニコ箱」に集まった会員の浄財から支出した。日赤を通じてウクライナ側に贈られる。

贈呈式は9日、市役所で行われ、玉井会長が真砂市長に救援金を手渡した。玉井会長は「ウクライナ国内のロータリークラブに直接贈りたかったが、戦争が長期化し、確実に手元に届くかわからなくなったため日赤に託すことにした」と話した。真砂市長は「避難民の救援や医療現場の支援に充てたい」と述べた。

真砂市長(右)に救援金を手渡す玉井会長(田辺市役所で)

紀伊民報 6月18日付

### ウクライナ人道支援を 田辺ロータリー 日本赤十字社に寄付



ロシアの軍事侵攻が続くウクライナへの人道支援に役立ててほしいと、田辺ロータリークラブ(玉井洋司会長)がこのほど、日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金に50万円を寄付した。

玉井会長らが田辺市役所を訪問。「ウクライナの皆さんのために使ってほしい」と話し、日赤県支部田辺市地区長を兼ねる真砂充敏市長に寄付金を託した。ウクライナの避難民の支援活動などに充てられる。

また、市立図書館にも図書購入費として10万円を寄付。同クラブは社会奉仕活動として、1961年から図書館への寄付を続けている。

真砂市長は「次代を担う子どもたちのために、という趣旨にのっとり、有効に活用させていきたい」と感謝した。

同クラブは、上富田町とみなべ町の図書館にもそれぞれ10万円を贈った。

寄付金を手渡す田辺ロータリークラブの玉井洋司 会長(左)  
＝田辺市長室で

【クラブ活動報告】

市立和歌山高校へ冷風機を寄贈

和歌山市内9ロータリークラブ

和歌山市内9ロータリークラブは、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、IM・インターシティミーティングの集いを中止し、記念プロジェクトとして、和歌山市立和歌山高等学校が取り組んでいる子供たちの体と心を育む教育に賛同し、IMスポーツ奨励協力金を贈呈しました。

今年度ホストクラブの和歌山西ロータリークラブを中心に6月29日(水)に和歌山市立和歌山高等学校をで贈呈式をおこないました。贈呈品目は、気化式冷風扇を3台(50万円相当)を寄贈しました。

和歌山新報 掲載記事

## 市高に冷風扇を寄贈

### 和市9 R Cがスポーツ応援で

和歌山市内の9ロータリークラブ(RC)は、危険な暑さが続き熱中症に厳重な警戒が必要とされる中、スポーツをする子どもたちを応援しようと、同市六十谷の市立和歌山高等学校に気化式冷風扇3台を寄贈した。

同クラブが会員相互の親睦と知識を広

竹内校長(右から2人目)に目録を手渡す安井IM委員長(同3人目)、石塚IM記念プロジェクト委員長(同4人目)ら(和歌山西ロータリークラブ提供)



めるため毎年開催している会合「インターシティミーティング(IM)」を、ことは新型コロナウイルス感染防止のため、本年度の活動テーマ「育む」から、スポーツを通じた子どもたちの成長

を、こととして実施したもの。同校が選ばれたのは、昨年ドラフト1位指名で小園健太投手と松川虎生捕手がプロ野球チームに入団したことから、同

を見守るために協力できることを考え、記念プロジェクトとして実施したもの。同校が選ばれたのは、昨年ドラフト1位指名で小園健太投手と松川虎生捕手がプロ野球チームに入団したことから、同

「猛暑は熱中症の問題だけでなく、土気も下がるのでそれが改善できたらうれしい。快適な環境でスポーツに励んでもらえるよう、若い世代のスポーツ全般を応援していきたい」と話した。

校が行う子どもたちの体と心を育むスポーツ教育に感銘を受け、「スポーツ奨励協力金」として贈られた。

贈呈式には、和歌山西ロータリークラブから石塚宏介IM記念プロジェクト委員長、安井健IM委員長、同クラブで講師を務める同市出身の元プロ野球選手、井上紘一さんが出席。竹内伸之校長と半田真一野球部監督が目録を手渡した。

石塚IM記念プロジェクト委員長は

## 新会員の紹介

	クラブ名	岸和田東ロータリークラブ		クラブ名	新宮ロータリークラブ
	氏名	いずもと まさひろ 泉本 真宏		氏名	みつはし ゆたか 三橋 豊
	職業分類	陸運業		職業分類	公証人
	生年月日	1981年9月30日		生年月日	1960年7月31日
	入会年月日	2022年6月3日		入会年月日	2022年7月6日
	クラブ名	和歌山ロータリークラブ		クラブ名	和歌山ロータリークラブ
	氏名	おかざき まこと 岡崎 誠		氏名	おかの まさき 岡野 正樹
	職業分類	生命保険		職業分類	損害保険
	生年月日	1974年10月15日		生年月日	1972年2月6日
	入会年月日	2022年6月7日		入会年月日	2022年6月7日
	クラブ名	和歌山ロータリークラブ		クラブ名	和泉南ロータリークラブ
	氏名	きくち まさき 菊地 正記		氏名	のぐち よしき 野口 佳規
	職業分類	証券		職業分類	学校経営
	生年月日	1971年12月16日		生年月日	1975年12月23日
	入会年月日	2022年6月7日		入会年月日	2022年6月23日
	クラブ名	和泉南ロータリークラブ	<p>ロータリーへようこそ！</p> <p>多様な会員が集まるクラブに </p>		
	氏名	ひらい もとあき 平井 初秋			
	職業分類	食品商社			
	生年月日	1963年9月17日			
	入会年月日	2022年6月23日			

## 奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリークラブの魅力は、職業やビジネスで活躍する会員と出会い、いっしょにリーダーシップを発揮しながら、地元のために活動できることです。例会で情報を学んだり、アイデアを持ち寄って奉仕プロジェクトを計画したり、楽しく活動する中で生涯にわたる友情が育まれるでしょう。以下をはじめ、さまざまな方法でクラブに積極的に参加してみましよう。

ロータリークラブへの入会は、職業人や市民リーダーの世界的ネットワークの一員となること。ロータリーの会員は、クラブの枠を超えて海外の会員と交流したり、リソースを寄せあって国際奉仕活動も行っています。



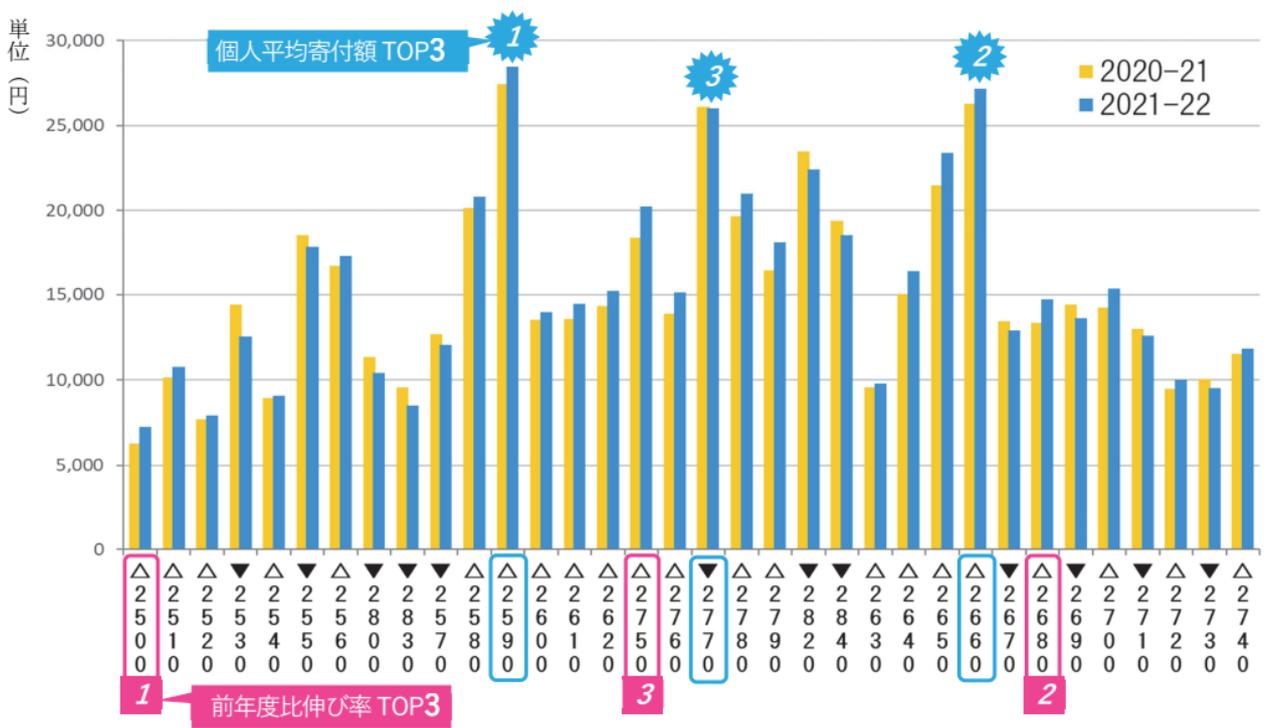
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol. **268**  
2022年7月13日  
発行

## 1. 2021-22 年度 寄付金結果

2021-22 年度の寄付金は約 13 億 4,600 万円でした。先月までは前年同期比約 1,000 万円の減少でしたが、6 月下旬に 1,000 万円の大口寄付があり、最終的には前年度比 0.7% 増（普通寄付金: 1.1% 減、特別寄付金: 1.5% 増）、約 900 万円の増加となりました。2021 年度予算は 12 億 8,000 万円を立てていましたので、無事予算も達成することができました。皆さまからの多くのご支援に厚く御礼申し上げます。2022 年度も引き続きご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



- 個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,971 円】
- ① 第 2590 地区：28,471 円
  - ② 第 2660 地区：27,140 円
  - ③ 第 2770 地区：26,002 円
- 前年度比伸び率 TOP3
- ① 第 2500 地区：115.2%
  - ② 第 2680 地区：110.4%
  - ③ 第 2750 地区：110.3%

## 2. 理事会開催報告 — 昨年度に続き 880 人採用 —

6 月 15 日、全国の理事 25 人、監事 2 人が出席し、第 34 回理事会が開催されました。昨年の 2 度の理事会はどちらもオンライン開催となりましたが、今回は 3 年ぶりに全国の理事・監事が対面で一堂に会して協議する、理事会本来の姿を取り戻すことができました。

採用数の件、2023 学年度募集要項の件、2022 年度事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2023 学年度の奨学生採用数は、前年度と同数の 880 人（枠）とすることなどが決定しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2023 学年度奨学生

### 3. 各国の学友が安倍元首相を追悼

安倍晋三元首相が7月8日、銃撃により死去した報道を受け、ネパール米山学友会から当会宛てに追悼文が寄せられました。また、モンゴル米山学友会も訃報の翌日、在モンゴル日本大使館に献花をしてくださいました。台湾米山学友会からも、理事長と幹事長の連名で追悼メッセージをいただきました。このほか、各国の学友が安倍元首相の突然の訃報に驚き、哀悼の意を示しています。



### あなたの「よねやまエピソード」大募集!!

皆さまの思い出に残る、米山奨学生/学友とのエピソードを募集いたします。選ばれた方は「ハイライトよねやま」や当会 facebook にてご紹介させていただきますので、下記詳細とエピソード例をご一読いただき、是非お気軽にご応募ください!

- ・応募先: メール ( [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp) )
- ・件名: 【エピソード募集】タイトル
- ・内容: 米山奨学生/学友とのエピソード

※エピソードをメール本文に記載し、思い出の写真を添付してください

#### エピソード例

#### 高校生の時ドラム やっていたんだけど

第 2790 地区 千葉  
梶原 等ガバナー (千葉RC)

2003年入会の私ですが、一番の思い出はクラブでC-chordという音楽バンドを結成したこと。お披露目は私が会長を務めた2018-19年度終了直後19年夏のクラブ納涼例会で3曲(明日に架ける橋/イエスタデイ・ワンス・モア/フォルティシモ)です。

そもそもは2019年2月、地区の所属グループで開催されたインターシティーミーティング(IM)。別のクラブの方がアトラクションでバンド演奏を披露されたのを、真ん前のテーブルで拝聴していたわがクラブの向後勝弘さんが「うちの池ちゃんクラリネット吹くけど、クラブでも何か披露できるかな」「高校生の時はこれでもドラムをやっていたんだけど」と返したのは私。

その会話が急展開。40年以上のブランクを心配しつつ、バンドを9人で結成。写真は左からベース佐久間秀一、当時のスリランカからの米山奨学生フェルナンド・

チャリット君はギター、向後勝弘ギターにドラムが私。クラリネット池田勝之、ピアノ吉田恵一、いつもはクラブの例会でピアノを弾いてくださっている石谷圭子先生がキーボード、日暮メイ子事務局員は女性ボーカル。一人だけ写っていないのが男性ボーカル清田浩義会員。

月に2回以上のペースで練習を続け、年末の忘年クリスマス家族例会にはクリスマスソング。何といても、クラブ有志が同じ目的を持って一つにつながるという、ロータリー本来のFellowshipが醸成されたことが一番の宝です。チャリット君や転勤で吉田恵一さんは現在、クラブを離れていますが、5年後のクラブ75周年にはまた、このメンバーでバンド披露は「お約束」。(建築設計)



40年以上のブランクもなんのその、第2790地区にC-chordあり  
ロータリーの友2022年4月号から転載





## 8月の行事予定表

日付	行 事	場 所
6(土)	第2回ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	ガバナー月信編集会議	ガバナー事務所
7(日)	第1回青少年交換委員会議	ガバナー事務所
	第3回全国ローターアクト委員及び ローターアクト代表合同会議	AP日本橋(東京都)
21(日)	第1回派遣候補生オリエンテーション	けやきONE401

今月は、ロータリーの「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。ジェニファー・ジョーンズ RI会長は、会員への配慮と会員が感じる心地よさ、インクルーシブなクラブをつくることが大切な要素であると強調しています。



### ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY

国際ロータリー  
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331  
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室  
TEL (073) 426-2640  
FAX (073) 426-2660  
e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分  
阪和道、和歌山インターから約10分

